

## 歌い継ごう新たな校歌



校歌を作詞したミュージシャンの鳩岡美香さんと、作曲した音楽家の大久保正人さんは、ともに大槌町出身で、鳩岡さんは北上市内に住んでいます。二人は旧大槌小学校の卒業生で、同じ音楽の舞台に立ったこともあるといいます。作詩の依頼を受けた鳩岡さんは約1カ月半かけて制作しました。鳩岡さんは旧4小学校の校歌を資料にし、詩の内容が特定の小学校の校歌に偏らないよう気をつけたといいます。「町が復興した後も歌い

継がれるような内容にしました。子どもたちが、元氣よく、希望を持って、世界に、未来に向かっていってほしいという気持ちを込めました」一方、大久保さんは鳩岡さんの作詞を受けて、約2カ月かけて作曲しました。「遠い将来、児童たちは、この歌を歌うたびに震災のことを思い出してください。校歌には震災を風化させない、という意味もあるのです。大切なことですから」と大久保さんは話してくれました。



## 新生・大槌小学校入学式

新生大槌小学校の開校式から2日後の4月6日(土)、新生・大槌小学校の入学式が同小学校の体育館で行われました。「にゆうがく おめでとー」の垂れ幕に迎えられ、男28名、女40名、合わせて68名の新入生が会場に入場。名前を読み上げられると、元氣よく返事して起立しました。



校長の菊池啓子さんが「小学校は誕生したばかりの同じ1年生です。やさしいお兄さん、お姉さんが待っています。元氣で輝く1年生になってください」と呼びかけました。



新生・大槌小学校  
菊池 啓子 校長

菊池さんは旧大槌北小学校の校長から新生・大槌小学校の校長に就任しました。菊池さんは開校式の学校長あいさつの中で、子どもたちに、こう話しました。

「旧小学校のそれぞれの歴史を一つに溶け合わせていきましよう。『志高く学ぶよ』『希望を胸に進むよ』と校歌にあるように、目標を高く持って努力しましよう。自分で考え、自分で行動しましよう。小学校から町内に、元氣を発信しましよう」

菊池さんは開校式の後、インタビューに答え、「大槌小学校開校をきっかけに、一歩、一歩、前進したいです。小中学校一貫教育の土台づくりをしたいです」と話してくれました。



## 新生・大槌小学校開校式

～夢を育み未来へ駆ける～

震災をきっかけに大槌小、安渡小、赤浜小、大槌北小の旧4校を統合して発足した新生・大槌小の開校式が4月4日(木)、大槌小の仮設体育館で行われました。町の未来を担う児童たちの学びの拠点は、平成27年度には大槌中との小中一貫教育へと移行します。新しい校舎には平成28年度に移る予定です。

開校式には2年生から6年生までの児童354人が参加しました。伊藤正治教育長から菊池啓子校長に校旗が授与された後、碓川豊町長が「旧4校の力を結集し、開校することができました。皆さんは生まれ変わった学校で、勉強に、スポーツに頑張ってください。何事にも、あきらめずに挑戦する気持ちや、思いやりの精神を持ち、切磋琢磨してほしいです」とあいさつしました。大槌小6年生の菅野雅也さん(11)が「相手や自分の良さを見つかりたいです。気持ちよくあいさつ、返事ができるようにしたいです」と誓いの言葉で応えました。

新しい校歌、校章が紹介され、児童全員で校歌を斉唱。元氣な歌声が体育館内に響き渡りました。旧4小学校は3月23日(土)に合同で閉校式を行い、長年の歴史に幕を閉じました。町内の小学校は4月から、大槌小と吉里吉里小の2校になりました。



伊藤正治教育長から菊池啓子校長に新しい校旗が手渡されました。